

1 調査名称：高崎市都市交通特性調査集計解析業務

2 調査主体：高崎市

3 調査圏域：前橋・高崎都市圏

4 調査期間：平成22年度～平成23年度

5 調査概要：

本市は、平成18年に倉渕村・箕郷町・群馬町・新町・榛名町の5町村と、さらに平成21年には吉井町と合併を行い、面積約459.41平方キロメートル、人口約37万人を抱える群馬県一の都市となった。

この合併による都市構造の変化に伴う定常的な交通実態を把握するため、国土交通省が実施する全国都市交通特性調査に併せて、H22～23年度の2ヵ年で高崎市都市交通特性調査（アドオン調査）を実施するものである。

H22年度は、本市における交通手段や移動目的等、人の交通行動を把握する最も基礎的な実態調査を実施した。

H23年度は、前年度に実施した実態調査データを整理するとともに、基礎的な交通実態を表す指標を集計し、グラフなどに整理してその特徴について考察を行った。また、交通行動に関して、分析テーマに応じたクロス集計などを実施した。

この調査の結果は、広域交通及び地域交通のあり方や交通計画、道路計画を検討するためのデータとして活用する。

## I 調査概要

- 1 調査名：高崎市都市交通特性調査集計解析業務
- 2 報告書目次
  - 第1章 業務全体企画 1
    - 1-1 目的
    - 1-2 業務内容
      - 1-2-1 業務全体企画
      - 1-2-2 実態調査データの整理
      - 1-2-3 基礎集計
      - 1-2-4 現況分析の実施
      - 1-2-5 とりまとめ
  - 第2章 実態調査データの整理
    - 2-1 データの整理
      - 2-1-1 分析用ファイル（拡大・補正前）の作成
      - 2-1-2 拡大・補正のための人口データの整理
    - 2-2 拡大・補正処理の実施
  - 第3章 基礎集計
    - 3-1 交通実態の基礎集計
      - 3-1-1 外出率
        - 3-1-2 1 人あたりトリップ数
      - 3-1-3 交通目的構成
      - 3-1-4 代表交通手段分担率
      - 3-1-5 平均所要時間
    - 3-2 意識調査データの集計
      - 3-2-1 交通手段選択時に重視する事項
      - 3-2-2 最近1年間での交通手段利用頻度の変化とその理由
      - 3-2-3 徒歩移動可能距離
      - 3-2-4 生活スタイル
      - 3-2-5 交通に関する満足度
      - 3-2-6 外出頻度が増加するための条件
      - 3-2-7 免許保有と運転頻度
      - 3-2-8 自動車利用抑制意識
      - 3-2-9 自動車を運転する理由
      - 3-2-10 自動車の運転断念行動
      - 3-2-11 免許保有の断念行動

## 第4章 現況分析

### 4-1 詳細項目を集計

#### 4-1-1 実施方針

#### 4-1-2 公共交通サービス水準と交通行動特性

#### 4-1-3 住民意識と交通行動特性

#### 4-1-4 高齢者の外出行動特性

#### 4-1-5 転居前後での交通手段の利用頻度の変化

### 4-2 高崎市の交通特性の現状と課題

#### 4-2-1 地球環境問題への対応

#### 4-2-2 高齢化社会を踏まえた都市交通計画

#### 4-2-3 中心市街地等の地域活力の向上

3 調査体制

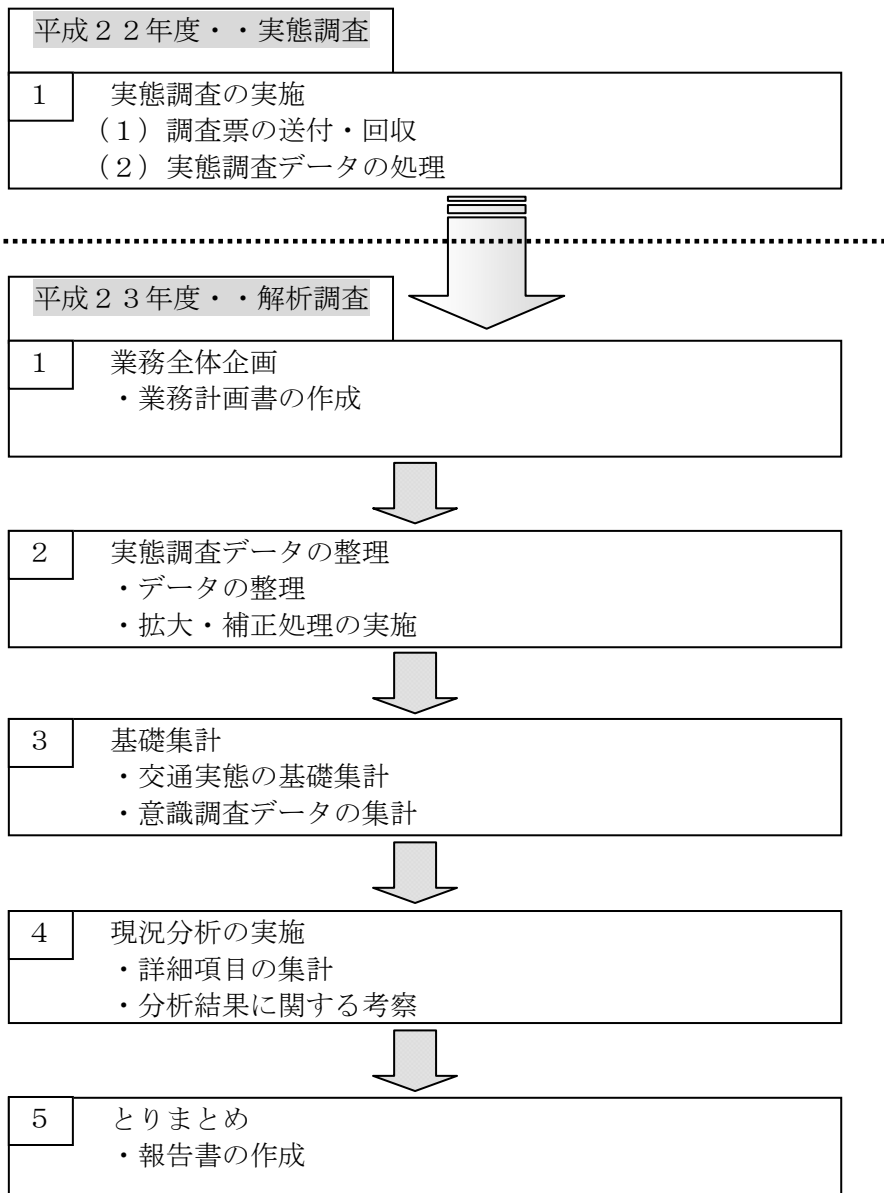
該当なし

## II 調査成果

### 1 調査目的

本調査は、交通特性調査で把握した「人の動き」を体系的に分析して、本市の交通特性の現状と課題を明らかにすることを目的とする。この調査結果は、都市交通に関する計画の立案や事後評価など本市の交通特性に応じた望ましい都市交通施策等の検討に活用する。

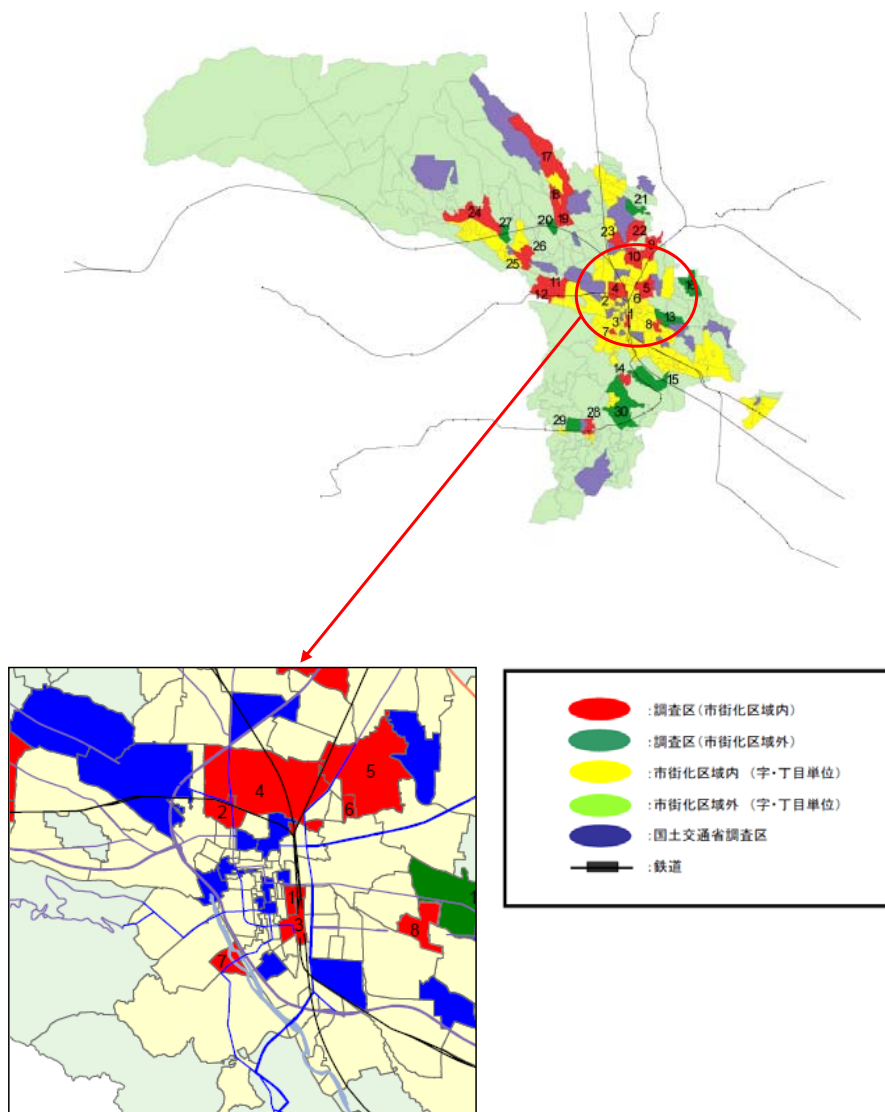
### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図

#### (1) 調査区

## 高崎市都市交通特性調査(アドオン調査) 調査区一覧 —都市整備部 都市計画課—



## (2) 調査区一覧

表 調査区一覧

調査区	調査区名		市街化区域	H22.4のデータ			備考
			区域内=1 区域外=2	世帯数	人口	抽出 世帯数	
1	旭町		1	350	711	57	
2	大橋町		1	647	1,271	106	
3	八島町		1	319	753	52	
4	飯塚町		1	3,457	7,791	570	
5	貝沢町		1	3,014	7,053	497	
6	日光町		1	337	878	55	
7	聖石町		1	182	420	30	
8	上中居町		1	3,301	7,446	544	
9	中尾町		1	1,653	3,879	272	
10	小八木町		1	1,154	2,876	190	
11	剣崎町		1	2,117	5,067	349	
12	八幡町		1	1,979	5,115	326	
13	南大類町		2	516	1,364	85	
14	城山町	1~2丁目	1	890	2,377	146	
15	根小屋町		2	631	1,676	104	
16	京目町		2	481	1,161	79	
17	箕郷町矢原		2	809	2,344	133	
18	箕郷町西明屋		1	707	1,961	116	
19	箕郷町上芝		1	1,113	3,044	183	
20	箕郷町和田山		2	137	406	22	
21	引間町		2	409	1,183	67	
22	菅谷町		1	1,044	2,684	172	
23	中泉町		1	1,291	3,222	213	
24	下室田		1	1,164	3,321	192	
25	上大島町		1	335	1,064	55	
26	本郷町		1	843	2,390	139	
27	神戸町		2	115	336	18	
28	吉井町吉井		1	1,174	2,961	193	
29	吉井町本郷		1	455	1,258	75	
30	吉井町馬庭		2	519	1,474	85	
				31,143	77,486	5,125	

市街化区域内 (用途地域指定区域)	22	区
市街化区域外 (用途地域指定区域外)	8	区

#### 4 調査成果

##### (1) 調査期間

平成23年10月18日から平成24年3月23日

##### (2) 調査主体及び調査実施機関

調査主体：群馬県高崎市 都市整備部 都市計画課

調査実施機関：一般財団法人 計量計画研究所

##### (3) 調査項目

#### 1-2 業務内容

##### 1-2-1 業務全体計画

業務全体を企画し業務計画書を作成した。

##### 1-2-2 実態調査データの整理

###### (1) データの整理

高崎市都市交通特性調査データと全国都市交通特性調査の高崎市分データを合わせて分析用ファイル(拡大・補正前)を作成した。データは、個人の交通行動を調査した個人票データ(平日及び休日)と意識調査データからなる。

また、(2)で拡大・補正を行うため、高崎市内の地区別・性年齢階層別の人口データを整理した。

###### (2) 拡大・補正処理の実施

分析用ファイルに含まれるサンプル数と人口データを用いて、市街地内外別・性年齢階層別の拡大・補正係数を算出し、分析用ファイル(拡大・補正前)のサンプルに付与し、分析用ファイル(拡大・補正後=以下ではマスターファイルという)を作成した。拡大・補正の方法は、国土交通省が全国都市交通特性調査について実施している方法と同じ方法とした。

##### 1-2-3 基礎集計

###### (1) 交通実態の基礎集計

マスターファイル(個人票データ)を用いて、高崎市の基礎的な交通実態を表す指標を集計し、グラフなどの形に整理して、その特徴などについて考察した。

<主な集計指標>

- ・一人当たりトリップ数
- ・交通目的構成、交通手段構成
- ・平均トリップ時間、平均トリップ距離

###### (2) 意識調査データの集計

マスターファイル(意識調査データ)を用いて、高崎市民の交通に対する意識などを集計し、グラフなどの形に整理し、その特徴などについて考察した。

<主な集計項目>

- ・交通に関する満足度
- ・最近の交通手段の利用頻度の変化とその理由



- ・自動車の利用削減意向の有無
- ・自動車を利用する理由、運転免許を手放した理由
- ・転居の有無と転居による交通の変化

#### 1-2-4 現況分析の実施

##### (1) 詳細項目の集計

交通行動に関して、いくつかの分析テーマを設定し、テーマに対応したクロス集計などを実施した。

＜分析テーマの例＞

- ・鉄道・バスのサービスと公共交通分担率などの交通の関係
- ・意識調査で把握される市民の意識（環境意識、ライフスタイル等）と交通の関係
- ・高齢者の分布と外出行動特性

##### (2) 分析結果の考察

(1)の集計結果に基づいて、高崎市における都市交通の現状と課題について考察を行った。

#### 1-2-5 とりまとめ

検討結果をとりまとめ報告書を作成した。